



平塚市民病院

平成30年度職員行動計画書

実績

★ビジョン★

「持続的な健全経営の下

高度医療、急性期医療及び政策的医療を担い

患者さんの生命（いのち）を守る診療を行う」

★平成30年度のキー・フレーズ★

「一人ひとりが広報マン」

「病院コンシェルジュ、全員コンシェルジュ」

「ぬくもり空間」

「コストの見える化」

平成30年度職員行動計画書実績

・内科(腎臓内分泌代謝内科)・1	・放射線診断科・・・45
・呼吸器内科・・・3	・放射線治療科・・・47
・消化器内科・・・5	・救命救急センター
・循環器内科・・・7	(救急科・救急外科)・・・49
・神経内科・・・9	・麻酔科・・・52
・緩和ケア内科・・・11	・保健指導室・・・54
・精神科・・・13	・看護科・・・56
・小児科・・・15	・ICU・CCU・・・59
・外科・・・17	・薬剤科・・・61
・呼吸器外科・・・19	・放射線技術科・・・63
・消化器外科・・・21	・臨床工学科・・・65
・血管外科・・・23	・臨床検査科・・・67
・心臓血管外科・・・25	・栄養科・・・69
・脳神経外科・・・27	・医療安全管理室・・・71
・乳腺外科・・・29	・病診連携室・・・73
・整形外科・・・31	・退院支援・医療相談室・75
・形成外科・・・33	・経営企画課・・・77
・皮膚科・・・35	・病院総務課・・・79
・泌尿器科・・・37	・医事課・・・81
・産婦人科・・・39	・改築推進室・・・83
・眼科・・・41	・災害医療企画室・・・85
・リハビリテーション科・	・感染対策室・・・87
リハビリテーション技術科・43	

※「評価」欄は、目標に対して「150%以上：S」「120%以上 150%未満：A」

「100%以上 120%未満：B」「70%以上 100%未満：C」「70%未満：D」としています。

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D	副責任者	看護科長代理兼看護師長	秦野 歩

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医と密接に連携をとることで、病診連携を推進します。
②持続血糖測定器(CGM)を用いた糖尿病治療を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
講演会などで開業医に新しい機器、治療法を説明する	医師	紹介率	80%	52.74%	D	47.13%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	97%	106.85%	B	98.85%	紹介率・逆紹介率
開業医にCGMの導入を知らせる	医師	紹介率	80%	52.74%	D	47.13%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

新しい機器を用いた治療、新しい薬による治療について、患者さんに分かりやすく説明します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)の新しい治療を本で説明する	医師	患者数	20%増	8人	B	6人	(なし)
CGMを用いた糖尿病治療の説明	医師	CGMを用いた患者数	12人	22人	S	12人	(なし)
家族性高コレステロール血症の新しい治療法の説明	医師	患者数	20%増	2人	S	1人	(なし)
糖尿病療養外来を充実させる	医師、看護師	患者数	30%増	15人	B	10人	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D	副責任者	看護科長代理兼看護師長	秦野 歩

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や新しい治療法による入院患者数の確保	医師	年間新入院患者数	10%増	1,437人	B	1,130人	1日当たり平均入院患者数
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	41.43時間	D	26.92時間	職員給与費対医業収益比率
新しい治療法の推進による収入確保	医師	入院診療単価	前年度比10%増	46,738円	C	44,391円	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

新専門医制度による専門研修基幹施設と連携強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設と情報交換会への参加	医師	参加回数	年3回	3回	B	5回	(なし)
院内研修会への参加	医師	参加回数	年5回	年3.7回	C	3.8回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表の学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	2編	S	5編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	発表数	年7回	25回	S	22回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	呼吸器内科	総括責任者	部長	浅井 芳人
病棟名	4D	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

放射線治療科・呼吸器外科との連携により肺癌治療の迅速化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
肺癌カンファレンスの開催	医師	肺癌患者の治療開始までの日数(治療開始日-初診日)	30日以下	放射線治療37.1日 呼吸器外科71.3日	D	37.9日	(なし)
呼吸器外科との連携強化	医師	呼吸器外科への肺癌患者紹介数	30件	22件	C	-	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

外来患者さんに快適な受診環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間の短縮	医師	診察時刻-受付時刻(時間)	60分以内	24分	S	24分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

新たな入院患者の確保により、医業収益の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
呼吸器センターを設立し集患する	医師	年間入院患者数	300件	443件	A	277件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	呼吸器内科	総括責任者	部長	浅井 芳人
病棟名	4D	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

スタッフの能力向上と医師－看護師の意思緊密に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床プロセスの学習会主催	医師	学習会開催数	4回	0回	D	3回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

市民の健康・医療に対する関心を高めるのに貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座の開催	医師	開催回数	1回	1回	B	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長	厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長	斯波 忠彦

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い医療を実施し、地域医療に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	80%	80.92%	B	72.02%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	140%	134.12%	C	123.19%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心、快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による業務の効率化	医師・看護師・事務	患者1人あたりの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	21分	S	52分	(なし)
検査・説明同意書の患者別個別化	医師	備考欄への個別の記入	100%	20%	D	50%	(なし)
検査・治療説明の一部動画化	医師・看護師	Webおよび待合室での動画	本年5本	0本	D	0本	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長	厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長	斯波 忠彦

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保し、入院稼働額を増加させます。
②職員のコスト意識を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
平均在院日数の短縮化	医師・看護師・退院支援室	平均在院日数	12日	13.5日	C	13.9日	平均在院日数
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間受入数	前年度比10%増	21,084人	C	20,391人	1日当たり平均入院患者数
開業医との連携を深めるための訪問	医師	年間訪問数	10回	0回	D	0回	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識・技術を向上させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
認定医・専門医の資格取得	医師	認定医・専門医数	取得数1人1個	1人0.3個	D	1人0.5個	有資格者数
内視鏡介助を行うスタッフのスキルアップ	医師・看護師	勉強会開催数	月1回	月0.2回	D	月0.5回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動および学生の教育を充実させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年8回	14回	S	8回	学会及び論文研究発表件数
学生のポリクリ・クラークシップを積極的に受け入れる	医師	学生数	年6名	12名	S	9名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長	松原 隆
病棟名	3B	副責任者	部長	高木 俊介

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療効率の人的・時間的・空間的・経済的向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会講演会などへの積極的参加	医師	紹介率	80%	73.50%	C	73.86%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	279%	273.05%	C	268.12%	紹介率・逆紹介率
急性心筋梗塞に対するクリニカルパスの導入	医師・看護師・DC・ 検査技師・事務	パスの作成	1種類増加	0	D	0	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

市民病院に対する市民の評価向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師・看護師・DC・ 検査技師・事務	患者1人当たりの平均 診察待ち時間	1時間7秒	26分	S	35分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間紹介患者受入数	年間紹介入院患者 循環器内科 200人	174人	C	226人	1日当たり平均入院 患者数
救急搬送患者受入による重症患者確保	医師	年間救急搬送患者受 入数	年間救急搬送患者 循環器内科 280人	263人	C	301人	入院診療単価
PCI件数	医師	年間PCI件数	200例	148例	C	202例	医業収支比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長	松原 隆
病棟名	3B	副責任者	部長	高木 俊介

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ② 新専門医制度による専門研修基幹病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修の参加	医師	参加数	1人当たり5回	1人当たり3.4回	D	4.2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門医取得	医師	専門医数、研修施設獲得	1人	0人	D	2人	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・学会発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年3回	1回	D	1回	学会及び論文研究発表件数
市民に対する疾患の啓発活動	医師・看護師	実施回数	年1回	1回	B	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	小出 隆司
病棟名	3A	副責任者	看護科長代理兼看護師長	日下 順子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

脳梗塞クリニカルパスの利用などで効率の良い診療を目標とします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
脳梗塞クリニカルパスの運用	医師	運用数	5件	1件	D	3件	(なし)
免疫性神経疾患の増加	医師	入院患者数	25件	14件	D	14件	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

説明文書の見直しや公開講座の開催により、患者さんに分かりやすい説明を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
説明文書の見直し	医師	見直し回数	1回	2回	S	0回	(なし)
公開講座の開催	医師	講座の開催	1回以上	1回	B	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

新たな入院患者の確保により、医業収益の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	前年度比10%増	168人	S	89人	医業収支比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	小出 隆司
病棟名	3A	副責任者	看護科長代理兼看護師長	日下 順子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	研修会参加回数	1人当たり年5回	1人当たり年2回	D	3回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文発表	医師	発表数	年1編	0編	D	1編	学会及び論文研究発表件数
学会研究発表	医師	発表数	年1回	6回	S	3回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	赤津 知孝
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケアを必要とする患者さんを積極的に拾い上げ、多職種からなるチームが質の高い緩和ケアを実現します。
②患者さんが気軽に相談できる窓口(がん相談支援センター)を設置します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
「苦痛のスクリーニング」の実施	医師、看護師、薬剤師など	実施件数	500件	822件	S	549件	(なし)
がん相談支援センター	がん専門相談員	相談件数	年100件	179件	S	83件	(なし)
多職種での合同カンファレンス(緩和ケア委員会において)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師ほか	実施回数	年12回	12回	B	12回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①一人一人の患者さんの苦痛や悩み(身体的、精神的、社会的苦痛など)が和らげられています。
②患者さん同士が気軽に語り合える場(がん患者会)や緩和ケアの啓発イベントなどを提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアチームでの回診・カンファレンス	医師、看護師、薬剤師	実施回数	毎週3回	毎週3回	B	毎週2回	(なし)
がん患者の会「なでしこの会」の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年4回	4回	B	4回	情報発信件数
緩和ケア週間(相談・啓発イベント)の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年1回	1回	B	1回	情報発信件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	赤津 知孝
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①がん診療に携わるすべての医師が「緩和ケアにかかわる研修会」を受講し、がん性疼痛緩和指導管理料の算定件数の増加を目指します。
②緩和ケアの診療依頼件数の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
がん性疼痛緩和指導管理料(200点)(緩和ケアにかかわる研修会の受講が条件)	医師	算定患者数	年200件	201件	B	212件	医業収支比率
緩和ケア診療加算(390点)	医師、看護師、薬剤師	算定患者数	年80件	143件	S	なし(H30年より算定開始)	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院職員全体が意欲的に緩和ケアへ取り組めるよう、職員の教育と啓発活動に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアにかかわる研修会(全職種対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	1回	B	1回	(なし)
緩和ケア勉強会(全職員対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	1回	B	1回	(なし)
病棟への押しかけ勉強会	看護師、薬剤師	開催数	年4回	5回	A	4回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

緩和ケアチームとして研究発表など学術活動や院外の研修会の講師・講演にも積極的に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師、看護師、薬剤師	発表数	年1回	0回	D	1回	学会及び論文研究発表件数
院外研修会の講師・講演	医師、看護師、薬剤師	講演回数	年1回	2回	S	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長	森長 修一
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

効率的な業務の遂行のために、各科・各病棟でせん妄の初期対応が行えるように努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
せん妄チェックリストの作成	医師、看護師	リストの作成状況	リストの完成 (100%)	完成	B	なし	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんやその家族に分かりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
せん妄に関する説明資料の作成	医師、看護師	資料の作成状況	資料の完成 (100%)	完成	B	なし	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識向上に資する取組により、加算の取得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
自殺未遂者の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントに関する研修会への参加	医師、看護師	救急患者精神科継続支援料の算定	算定開始	算定開始	B	なし	医業収支比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長	森長 修一
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の医療知識及び技術習得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加回数	1人当たり年5回	1人当たり2回	D	1人当たり年4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
学会、院外研修会への参加	医師	参加回数	1人当たり年3回	3回	B	1人当たり年2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会研究発表	医師、看護師	発表数	年2回	2回	B	年1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	小児科	総括責任者	部長	山田 健一郎
病棟名	5D小児科・NICU・GCU	副責任者	看護科長代理兼看護師長	前田 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①質の高い高度医療を提供するため、紹介患者を中心とした診療を展開します。
- ②小児救急・周産期救急維持のため必要な小児科医を確保します。
- ③産科と連携し、地域の産婦人科開業医からの新生児・母体搬送を積極的に受け入れます。

	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医との連携	医師	紹介率	90.0%	91.57%	B	87.32%	紹介率・逆紹介率
開業医への逆紹介の推進による外来業務の効率化	医師	逆紹介率	40%	33.41%	C	27.56%	紹介率・逆紹介率
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①24時間、365日小児・新生児の受け入れに努力します。
- ②小児病棟・NICU・GCUにぬくもり空間を作ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)
クリスマス会などの各種イベントの開催 ボランティアさんによる本の読み聞かせ	医師・看護師・保育士	イベント開催数	3回	3回	B	3回	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①空床を減らし病床を有効に活用します。
- ②総合入院体制加算維持のため逆紹介を推進し外来縮小体制をとります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
予定入院増加による空床の有効活用	医師	予定入院数	前年度比5%アップ	130人	B	115人	病床利用率
地域開業医との連携・逆紹介推進による外来縮小体制	医師	通院不要的退院率	45%	52.5%	C	45.7%	1日当たり平均外来患者数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	小児科	総括責任者	部長	山田 健一郎
病棟名	5D小児科・NICU・GCU	副責任者	看護科長代理兼看護師長	前田 まゆみ

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①各個人の能力向上のため院内研修会に積極的に参加します。
- ②小児科医としての能力向上のため小児科の専門学会・研修会などに積極的に参加します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修会への参加	医師	参加回数	1人5回	1人2回	D	2.5回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
小児科専門学会・研修会への参加	医師	参加回数	1人5回	1人5回	B	6.4回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会・研究会に参加し、積極的に発表を行います。
- ②市民向け講演会・地域医師会主催講演会に参加し講演を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師	発表数	年4回	6回	A	9回	学会及び論文研究発表件数
市民向け講演会	医師	講演数	年4回	16回	S	15回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術(高度な医療)が必要な患者に24時間365日、一件でも多くの外科手術を提供します。
- ②双方で顔の思い浮かぶ病診連携により外来診療を縮小します。
- ③多職種連携チームの活動を通じてSSIの減少に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
技術習得等による手術実行数の増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,100件/年	1,189件/年	B	1,031件	手術件数
信頼関係の強い病診連携先数を得るための開業医訪問回数増	医師、事務職	訪問回数	2回/月以上	23回	C	25回	紹介率・逆紹介率
SSI(術後創感染)発生率の減	医師、看護師	消化器外科でのSSI発生率	7.0%未満	5.8%	B	4.7%	(なし)
診療情報提供の積極的な実施	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科全体での退院時診療情報提供書の率	25%	36.8%	A	42.6%	通院不要的退院率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

分かりやすい説明により、患者さんが安心して受診できる体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師、薬剤師	外科のホームページ更新回数	2回/年	8回	S	2回	情報発信件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—	—	—	—	—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

収入確保と支出削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術を数多く行うことによる診療稼働額増及び診療単価増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,100件/年	1,189件	B	1,031件	手術件数
減らすことの可能な診療材料費とDPC包括行為を調べ上げ、外科医と事務職が協力して支出減	医師・事務職	実施	実施	実施	B	申請したreusable品の購入承認済み	診療材料費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新専門医制度における外科専門研修基幹施設としての要件を維持し続けます。
- ②基本領域に加えて2階、3階部分の専門医資格申請要件に足る診療および学術活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
基幹施設要件を満たす手術件数の確保	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,100件/年	1,189件	B	1,031件	手術件数
基幹施設要件を満たす有資格医師数の確保	医師	資格保持者数	現状維持	現状維持	B	現状維持	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学術活動の充実を図ります。
- ②学生の育成に貢献します。
- ③頻度の高い外科疾患について、市民の理解を深めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文発表	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の発表論文数	3編/年	27編	S	7編	学会及び論文研究発表件数
医学生に外科学を学ぶのに必要な臨床実習の場を積極的に提供する	医師	受入率	100%	100%	B	100%	学生実習受入人数
胃・大腸・胆石・肝臓・鼠径ヘルニア・肛門・乳腺・varix・ASOの出張講座を行う	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の開催数	8回/年	2回	D	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	科医長	奥井 将之
病棟名	4D	副責任者	看護科長代理兼看護師長	秦野 歩

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域連携により患者を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医訪問などによる紹介患者の確保	医師	紹介率	75.00%	88.89%	B	-	紹介率・逆紹介率
開業医と連携した手術件数の確保	医師	手術件数	80件	89件	B	-	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者満足度の高い診療を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
平均在院日数の短縮による患者負担の軽減	医師	平均在院日数	11日	10.2日	B	-	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病床稼働率の向上と収入の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
平均在院日数の短縮	医師	平均在院日数	11日	10.2日	B	-	平均在院日数
手術、紹介患者確保による入院診療単価の増加	医師	入院診療単価	100,000円	130,314円	A	-	入院診療単価

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	科医長	奥井 将之
病棟名	4D	副責任者	看護科長代理兼看護師長	秦野 歩

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	職員向け院内研修会の参加回数	1人当たり5回	1人当たり2回	D	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	学会発表回数	1回	0回	D	-	学会及び論文研究発表件数
論文発表	医師	論文発表回数	1回	0回	D	-	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長	山本 聖一郎
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より多くの症例に対応し、医療の質の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
一般消化器外科手術症例数の増加	医師	手術症例数	800件	819件	B	694件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より詳細な情報発信により、安心して受診していただける環境を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページの充実	医師	内容の充実	より詳細な記載	詳細な記載	B	実施	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

多くの症例の手術に対応することで、患者を確保するとともに、収入増を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術症例の増加による入院診療単価の増	医師	(外科、消化器外科、血管外科の)入院診療単価	前年度比5%増	91,824円	B	84,100円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長	山本 聖一郎
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識の習得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	1人あたり4回	1人あたり10.4回	S	1人あたり6回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文など学術活動に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	1人4回	1人5.6回	A	1人6.2回	
論文	医師	論文数	英文2、和文5	英文3、和文5	A	英文3、和文1	

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長	林 啓太
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

チーム医療を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他科との連携	医師	手術症例数	80.0%	64.7%	C	112件 (4～12月)	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者満足度の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化、外来縮小による外来待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	60分以内	26分	S	42分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

手術件数の確保による増収を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数の確保	医師	手術件数	150件	241件	S	233件	医師及び看護師1人 当たり入院診療収入

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長	林 啓太
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

勉強会に積極的に参加し、職員の能力向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	3回	5回	S	3回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	2回	1回	D	1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長	井上 仁人
病棟名	3B	副責任者	看護科長代理兼看護師長	高田 佳奈子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のために既存の病診連携の継続と新規開拓を行います。
②地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための病診連携の継続	医師	紹介患者数	70人	76人	B	71人	手術件数
地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療	医師	死亡率	3%以下	1.64%	A	3.8%	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの負担を軽減する治療を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト、オフポンプバイパスなどの患者にやさしい治療の実施	医師	ステントグラフト件数 オフポンプバイパス件数	前年度比5%増 前年度比5%増	ステントグラフト19件 オフポンプバイパス30件	B	ステントグラフト17件 オフポンプバイパス25件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

ステントグラフトなどの診療科を超えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフトなどの診療科を超えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択	医師	入院診療単価	前年度比5%上げる	127,308円	B	118,719円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長	井上 仁人
病棟名	3B	副責任者	看護科長代理兼看護師長	高田 佳奈子

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上のための機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
研修医のための心臓手術シミュレーション	医師	研修医全員の受講	研修医全員	研修医全員	B	研修医全員	(なし)
心臓血管外科ウエットラボによる手術シミュレーション	医師	受講人数	50人	50人	B	50人	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

アカデミックサーजनとしての意識改革と業績の構築を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	5編	1編	D	5編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師	研究発表数	10回	14回	A	12回	学会及び論文研究発表件数
ステントグラフト実施医・指導医の育成	医師	実施医・指導医	2人	0人	D	実施医1人	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療支援のため、紹介及び逆紹介を積極的に行います。
②重症患者の診療を中心に行うため、手術室の有効利用を図り、手術件数の増加に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介の推進	医師	紹介率	68%	47.81%	C	39.82%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	124%	72.24%	D	104.03%	紹介率・逆紹介率
紹介、救急症例の増加による手術件数の増加	医師、看護師	手術件数	200件	183件	C	199件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

重症患者を受け入れ、いつでも緊急手術に対応可能な体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
緊急手術件数の増加	医師、看護師	緊急手術件数	150件	131件	C	131件	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
重症患者確保による入院診療単価の増	医師	年間入院診療単価	75,000円	79,505円	B	74,302円	入院診療単価
1日当たり平均入院患者数	医師	1日当たり平均入院患者数	21人	15.3人	C	22.0人	1日当たり平均入院患者数
平均在院日数の短縮	医師、看護師、MSW	平均在院日数	16日	16.4日	C	18.7日	平均在院日数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数	前年度比10%減	70.29時間	B	78.83時間	職員給与費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門研修基幹施設との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設との研修会への参加	医師	参加数	年3回/科	3回	B	3回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	3編/科	2編	D	1編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師	発表数	8回/科	13回	S	10回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長	米山 公康
—	—	—	—	—

※下線がある項目は、重点項目です。

u003c/div>

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

対外的活動を増進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医向け乳腺疾患講演の実施	医師	実施回数	年2回	0回	D	0回	紹介率・逆紹介率
整形外科開業医への骨密度測定依頼	医師	依頼件数	年20例	16例	C	5例	紹介率・逆紹介率
手術患者の歯科受診の徹底	医師・看護師	手術患者の歯科受診率	100%	100%	B	0%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

媒体の積極的活用により、患者さんに安心して受診していただける体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実(改訂回数の増加)	医師・薬剤師	改訂回数	3回	6回	S	2回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療資源を効率的に活用します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
化学療法の積極的実施	医師	化学療法施行数	前年度を上回る件数	774件	A	延べ613件	外来診療単価
MRI検査の積極的実施	医師	MRI実施数	前年度を上回る件数	180件	A	136件	外来診療単価
骨シンチ検査の積極的実施	医師	骨シンチ実施数	前年度を上回る件数	131件	S	69件	外来診療単価

29

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長	米山 公康
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内カンファレンス及び院外カンファレンス・研究会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内乳腺画像カンファレンスの開催	医師・技師	開催回数	月1回	12回/年	B	月1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院内乳腺病理カンファレンスの開催	医師・技師	開催回数	月1回	12回/年	B	0回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院外研究会参加	医師	参加数	3回	8回	S	7回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動及び体外活動を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年4回	3回	D	4回	学会及び論文研究発表件数
論文発表	医師	論文数	年2本	1本	D	0本	学会及び論文研究発表件数
公開市民講座の開催	医師	開催回数	年2回	3回	S	0回	講座及び講演数
パラメディカルへの講演実施	医師	開催回数	年2回	10回	S	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長	内田 尚哉
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域の医師との垣根のない連携を構築します。
②病院内の効率的な運用を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	開業医訪問数	15回	11回	C	21回	紹介率・逆紹介率
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	紹介患者数	400人	486人	A	452人	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	150%	148.21%	C	118.73%	紹介率・逆紹介率
手術室の適正な運用の推進	医師	手術件数	720件	843件	B	692件	手術件数
退院時の診療情報提供書作成の推進	医師	通院不要的退院率	25%	30.8%	A	28.2%	通院不要的退院率
大腿骨骨折地域連携パスの合同会議の出席	医師、病診連携室、 看護師、技師	出席回数	2回	3回	S	2回	(なし)
病診連携室経由で開業医への「整形外科だより」の送付	医師	送付回数	年2回	2回	B	2回	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんにとっての快適な診療体制を整備します。
②地域の医師への情報発信を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、外来看護師、 事務職	患者一人当たりの平均 待ち時間	前年度比5分短縮	45分	D	39分	(なし)
適切な患者接遇の推進	医師	苦情に関する投書件数	前年度比10%減	25件	C	23件	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長	内田 尚哉
—	—	—	—	—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を図ります。
②職員の業務の効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
稼働額の増加	医師	稼働額(外来+入院)	前年度比5%増	1,223,837,555円	A	885,597,256円	医業収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	前年度比2%増	870人	A	683人	1日当たり平均入院患者数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%削減	62.41時間	B	66.63時間	職員給与費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

医師自らの能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加の推進	医師	参加数	1人あたり2回以上	1人あたり1.6回	C	延10回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表、講演	医師	参加数、講演数	科あたり5回	1回	D	3回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	論文数	科あたり2編	1編	D	0編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	5B	副責任者	医師	加茂川 留理

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

決められた時間内に多くの患者さんを診られる診療体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による効率化	医師、看護師、検査技師	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比2分短縮	39分	S	1時間38分	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんが治療内容方針を理解して安心して診療を受けられる環境を整備します。
- ②患者さんを積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術説明関連資料作成	医師、看護師	作成数	2種類	5種類	S	2種類	(なし)
外来時間外患者の積極的受け入れ	医師、看護師	外来時間外受付患者数	10件/月	8件/月	C	13件/月	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

入院患者の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の増加を図ります。	医師	延入院患者数	680人	691人	B	341人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	5B	副責任者	医師	加茂川 留理

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識と研鑽を積むために他病院見学や研修会への参加を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
研修会への参加	医師	参加数	1人当たり5回	1人当たり2回	D	2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
他院への手術見学(有給)	医師	見学数	2回	2回	B	2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学会活動の充実をはかります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	0編	D	1編	学会及び論文研究発表件数
学会発表数	医師	学会発表数	1回	0回	D	0回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長	栗原 佑一
病棟名	5B	副責任者	看護科長代理兼看護師長	西島 由美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

病院として求められる、質の高い、適切な医療提供を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
再診患者の逆紹介を推進する	医師	外来患者数	80人/日	61.8日/日	A	79.0人/日	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

検査や病院で求められる治療に重点を置き、待ち時間短縮を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
外来の待ち時間の減少(逆紹介により)	医師	診察待ち時間	1時間以内 (10%減)	34分	B	41分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上と手術件数増加により単価の上昇を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	医師、看護師、事務	ミーティング実施回数	2ヶ月に1回	6回	B	5回	診療材料費対医業収益比率
悪性腫瘍を中心とした手術件数の増加	医師	手術件数	入院80 外来450	入院83 外来347	C	入院72 外来445	医業収支比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長	栗原 佑一
病棟名	5B	副責任者	看護科長代理兼看護師長	西島 由美

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①知識の充実と技能向上のため、学会への参加や他病院見学を積極的に行います。
②院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加回数	年5回/人	年2回/人	D	2.25回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
学会、講演会への参加	医師、看護師	参加回数	年2回/人	20回 (年6.6回/人)	S	6回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、学会発表などの学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	学会発表数	8回/年	10回	A	9回	学会及び論文研究発表件数
論文作成	医師	論文数	4編/年	2編	D	7編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	部長	森 紳太郎
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための連携(外来協力)	医師	外来協力回数	週一回	週三回	S	—	紹介率・逆紹介率
手術症例の相互紹介	医師	逆紹介患者数	前年度同様	233人	C	273人	紹介率・逆紹介率
安全な手術の実施による手術件数の確保	医師	手術数	前年度以上	560件	B	550件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

市民公開講座の開催により患者、市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
市民公開講座	医師	実施回数	年2回	3回	S	年1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

必要患者に対する適切な入院治療を行うとともに、過剰医療の抑制を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
必要患者の入院を対応	医師	年間新入院患者数	前年度以上	653人	B	619件	1日当たり平均入院患者数
近隣での対応可能症例に対しては近隣で	医師	逆紹介患者数	前年度同様	233人	C	273人	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	部長	森 紳太郎
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院外研究会、学会等に参加し、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院外研究会 学会参加	医師	参加回数	一人あたり年2回	一人あたり年2回	B	一人あたり年2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表や論文作成を積極的に行います。
- ②市民公開講座の開催により患者、市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
論文	医師	発表数	年3編	1編	D	3編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	発表数	年3回	2回	D	2回	学会及び論文研究発表件数
市民公開講座	医師	実施回数	年2回	3回	S	年1回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	4AB、5D産科	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市内診療所との連携を強化します。
- ②県内病診との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
平塚市産婦人科医会例会参加	医師	紹介率	70%	68.36%	C	68.26%	紹介率・逆紹介率
平塚市産婦人科医会運営	医師	紹介率	70%	68.36%	C	68.26%	紹介率・逆紹介率
神奈川県産科婦人科医会部会参加	医師	紹介率	70%	68.36%	C	68.26%	紹介率・逆紹介率
逆紹介推進	医師	逆紹介率	45%	25.30%	D	25.05%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①分娩における医療環境を整備します。
- ②緊急時の対応を整備します。
- ③市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
母体搬送の積極的受け入れ	医師・助産師	患者数	20件	22件	B	14件	分娩件数
周産期救急の受け入れ	医師・助産師	患者数	300件	332件	B	326件	産科・小児科(周産期)の救急受診患者受入数
医療圏の婦人科救急	医師・助産師	救急車搬送患者数	25件	31件	A	32件	産科・小児科(周産期)の救急受診患者受入数
市民への情報発信	医師・助産師	院内講座回数	2回	0回	D	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①診療レベルを維持しながら入院期間を短縮し、入院患者数を増加します。
- ②診療コスト削減への職員意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療連携による入院患者数の増加	医師	入院患者数	10%増	9,833人	C	9,238人	1日当たり平均入院患者数
悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術増加による入院診療単価増加	医師	入院診療単価	75,000円	70,930円	C	70,848円	入院診療単価
診療材料コスト削減への職員意識	医師・看護師・助産師	手術のお産セットの単価	5%減	-	D	-	診療材料費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	4AB、5D産科	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①日本産科婦人科学会専門医資格の取得を支援します。
- ②新専攻医制度での基幹施設との連携を強化します。
- ③院内研修会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
日本産科婦人科学会専門医資格の取得	医師	資格取得	1人	1人	B	1人	有資格者数
新専攻医制度基幹施設研修プログラム委員会参加	医師	参加回数	3回	3回	B	1回	(なし)
院内研修会参加	医師	参加回数	1人当たり年5回	1人当たり年2.2回	D	1人当たり2.8回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
がん治療認定医機構がん治療認定医資格取得	医師	資格取得	2人	0人	D	1人	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表、論文投稿などの学術活動の充実を図ります。
- ②後進の育成に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	科全体で3回	1回	D	2回	学会及び論文研究発表件数
論文執筆	医師	論文数	科全体で2編	0編	D	1編	学会及び論文研究発表件数
当科に関心のある学生の積極的受け入れ	医師	受け入れ人数	2人	0人	D	0人	学生実習受入人数
看護学部、看護学校での講義	医師	延べ講義数	16回	15回	C	16回	講座及び講演数
市民向け出張講座	医師	開催数	3回	0回	D	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—	—	—	—	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加	医師	参加回数	年2回	1回	D	1回	(なし)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	140%	149.16%	B	140.58%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	開催数	毎月1回	12回	B	13回/年	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診療待ち時間の短縮に努め、患者満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化、他職員との連携強化	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	診療待ち時間	前回調査比10分の短縮	31分	C	26分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
- ②コスト意識向上につとめます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携により手術患者の確保	医師	手術件数	前年度比1.5倍	243件	C	225件	医業収支比率
手術時のコスト意識の向上	医師、看護師	・アイリスレトラクターの購入単価 ・眼内レンズの購入単価(全品)	前年比10%削減	-	D	-	診療材料費対医業収益比率
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たりの時間外勤務時間数(月)	前年比10%削減	19.00時間	C	19.33時間	職員給与対医業収益比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—	—	—	—	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
②大学病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	年5回	年4回	C	3回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
大学病院との情報交換会への参加	医師	参加数	年2回	2回	B	2回	(なし)
科内勉強会	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手	開催数	年4回	16回	S	0回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

眼科医療に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
眼科医療に関心のある学生の積極的受入れ	医師、視能訓練士	受入人数	1人	0人	D	0人	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 科長	杉木 正 磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理	笠原 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率の向上により効率化を図ります。
- ②カンファレンスの実施により他職種と情報を共有し、患者の早期退院を目指します。
- ③チーム医療に積極的に参加し、他職種と連携を図りながらリハビリテーションの視点で進言します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率の向上	医師	件数	50件	49件	C	55件	紹介率・逆紹介率
整形外科カンファレンス	医師、看護師、MSW、リハビリテーション技師	開催数(参加)	50回	49回	C	49回	(なし)
脳神経科カンファレンス	医師、看護師、MSW、リハビリテーション技師	開催数(参加)	25回	25回	B	25回	(なし)
心臓リハビリテーションカンファレンス	医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	30回	34回	B	35回	(なし)
RST(呼吸サポートチーム)	医師、看護師、臨床工学技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診50回 委員会12回 講義3回	回診40回 委員会12回 講義3回	C	回診47回 委員会12回 講義3回	(なし)
NST(栄養サポートチーム)	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会4回 講義1回	委員会3回 講義1回	C	委員会4回 講義1回	(なし)
褥創委員会	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診12回 ポジショニング検討10回	回診12回 ポジショニング検討5回	C	回診11回	(なし)
緩和医療委員会	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回	委員会12回 イベント1回 講義1回	B	委員会12回 イベント1回 講義1回	(なし)
糖尿病診療対策委員会	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回	委員会12回 イベント1回 講義1回	B	委員会12回 イベント1回 講義0回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリテーションの計画的な指示・実施により待機患者の削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
計画的指示・実施による待機患者数削減	医師	待機患者数	前年度よりさらに削減	19人/1,641人 (1.158%)	D	8人/1,283人	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 科長	杉木 正 磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理	笠原 まゆみ

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

指示・実施単位数や加算の積極的な取得により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション指示単位数(実施単位数)の向上	医師・リハビリテーション技師	単位数	46,000単位	53,294単位 (PT 33,391) (OT 10,224) (ST 9,679)	B	45,326単位 (PT 28,732) (OT 11,070) (ST 5,524)	医業収支比率
加算の積極的な取得	リハビリテーション技師	件数	計画書2,000件 退院指導1,000件	計画書 2,557件 退院指導 1,466件	A	計画書1,952件 退院指導960件	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内研修への積極的な参加により、職員の能力向上を図ります。
- ②科内学習会を実施し、科内職員のスキルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	リハビリテーション技師	参加数	5回	4.4回	C	5.1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
科内学習会の開催	リハビリテーション技師	実施回数	20回	17回	C	16回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションを目指す学生の育成に貢献します。
- ②市民を対象とした講義などを行います。
- ③学会等で演題発表を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学生指導	リハビリテーション技師	学生実習(リハビリテーション技師)受入人数	8人	8人	B	6人	学生実習受入人数
市民アカデミーなどの講義の実施	リハビリテーション技師	実施回数	2回	5回	S	5回	講座及び講演数
学会等での発表	リハビリテーション技師	実施回数	1回	1回	B	1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—	—	副責任者	主任医長	小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	即日実施	-	即日実施	(なし)
MRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	前年比10%短縮	ルーチン6日 精査19日	B	ルーチン12日 精査17日	(なし)
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	前年比5%増加	2,493件	C	2,507件(心エコー、内視鏡除く)	紹介率・逆紹介率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	95.60%	-	93.60%	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

土曜日のMRI委託検査の実施による地域医療への貢献。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
土曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査1.2倍	704件	C	703件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	30件以上/年	50件	S	39件	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	件数	50件以上/年	50件	B	67件	入院診療単価
血管形成術	医師	件数	50件以上/年	97件	S	96件	入院診療単価

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—	—	副責任者	主任医長	小林 真紀子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門医の取得・維持を図るための、学会参加を促進し、高度な診療技術の維持を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
放射線診断専門医維持のための学会参加	医師	参加数	規定の参加ポイントの取得	1.25回/人	B	1回/人	有資格者数
IVR専門医取得・維持のための学会参加	医師	参加数	規定の参加ポイントの取得	2回/人	B	1回/人	有資格者数
肺がんCT検診認定医取得・維持のための講習会参加	医師	参加数	2名以上	0名	D	0名	有資格者数
院内にて静脈注射講習会を行い、看護師・臨床研修医師の静脈注射技術の向上を図る	医師	講師回数	各々1回以上	各1回	B	各1回	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表などの学術活動の充実を図ります。
- ②地域医療を支える人員の増加を図るため、地域での看護教育に協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年2回(共同発表含む)	7回	S	5回	学会及び論文研究発表件数
看護大学校での放射線科講義の実施による教育への協力	医師	講座数	2回	1回	D	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—	—	副責任者	主任医長	今宮 聡

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高精度照射の適応症例を拡大します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
ほぼ前立腺癌に限定適応されているIMRTの他疾患への拡大	医師、技師	前立腺癌以外へのIMRT実施人数	15人/年	9人	D	4人	(なし)
定位照射のスムーズな受け入れ	医師、技師	年間定位照射数	35人/年	38人	B	30件	(なし)
前立腺癌IMRTのスムーズな受け入れ	医師、技師	年間治療症例数	25人/年	28人	B	18人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや家族への判り易い説明を徹底します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
放射線治療計画から実施までの流れを視覚化	医師、技師	紹介DVD導入	紹介DVD作成	できず	D	できず	(なし)
CT画像・MRI画像を使った紙ベースでのさらなる説明	医師	詳細な個別化した説明書作成	7割以上で	9割以上	A	一部のみ	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

放射線治療適応症例を獲得します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内カンファレンスへの出席	医師	院内からの依頼症例数	220人	200人	C	219人	入院診療単価
他院訪問での放射線治療説明や治療後画像発信による情報の共有	医師	院外依頼患者数	45人	94人	S	56人	外来診療単価

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—	—	副責任者	主任医長	今宮 聡

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

治療スキル向上のため、学会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	年1回以上	2回	S	年2回参加(医師)	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

放射線治療成績を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
臓器別急性疾患の治療成績のHP上への発信	医師	治療症例数の多い代表疾患の治療成績表示	4疾患について表示	できず	D	できず	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護科長代理兼看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 藤田 智子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 生命の危機に瀕した重症患者を受け入れます。
- 救命救急センター内の職種の垣根を越えた連携を図り、よりよいチーム医療を実践します。
- 重症患者の治療にあたり、『多職種回診』を行いチーム医療を実践します。
- 地域救急隊との連携を向上させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
近隣消防本部への挨拶回り	医師・事務(医事課)	訪問回数	2回	1回	D	0.5回	(なし)
救急患者受入数	医師	受入患者数	8,000人	9,123人	B	8,047人	救急患者受入数
年間重篤患者数 (厚生労働省「救命救急センターの新しい充実度評価」)	医師	重篤患者数	800人	1,082人	A	911人	(なし)
救命救急センター会の開催	医師・看護師	救命救急センター会の回数	月1回(8月を除く)	月1回	B	月1回	(なし)
多職種カンファレンスを行う	医師・看護師・薬剤師・(事務)	カンファレンスの回数	週1回	週1回	B	0回	(なし)
救急事例検討会の開催	医師・事務(医事課)	開催回数	2回	2回	B	2回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 救命救急センターとして、救急医療に関する情報を発信します。
- 接遇を向上させると共に、受診時間の短縮に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
救急隊からの受入れを促進する	医師	応需率	98%	98.7%	B	98.3%	(なし)
様々なツール(病院本、Smile!・ホームページ)を通じた広報活動	医師・看護師	情報発信したツール数	1件	1件	B	3媒体	情報発信件数
接遇を向上させる	医師・看護師	クレーム数	10件未満	5件(看)	S	2件(医) 4件(看) 計6件	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護科長代理兼看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 藤田 智子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急搬送件数を増加させます。
- ②入院患者数(軽症経過観察・重症集中治療)を増加させ、入院稼働額の増加をめざします。
- ③救急病棟の効率的運用方法を見出します。
- ④救急外来スタッフのコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	受入患者数	8,000人	9,123人	B	8,047人	(なし)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	平均外来患者数	12人	16.1人	D	13.4人	1日当たり平均外来患者数
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	外来診療単価	29,670円	26,672円	C	29,421円	外来診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院診療単価	70,000円	125,449円	S	104,317円	入院診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院患者数	100人/年	救急科149人 救急外科122人	S	救急科 169人 救急外科 75人	(なし)
救急病棟の入院稼働率(利用率)上昇	医師・看護師・事務	病床利用率	70%	86.1%	A	77.6%	病床利用率
救急病棟の入院稼働額上昇	医師・看護師	入院診療単価	148,870円	139,199円	C	113,775円	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内研修会への参加により、他分野の見識を深めます。
- ②専門職としての自己研鑽に努め、教育や研究活動に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり6回	1人あたり4.9回	C	1人あたり7.3回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
看護研究の立案、実践	看護師・医師	行う看護研究の数	2件	共同研究1件 立案1件	D	立案のみ1件	(なし)
働きやすい職場環境の調整	看護師	離職率	5%未満	外来4% 病棟11%	D	5%	(なし)
院外研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり2回	医師 3回程度 外来 1.8回 病棟 1.3回	B	1人あたり1.5回	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護科長代理兼看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 藤田 智子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急ワークステーション(救急WS)を通じて、重症傷病者に対する病院前からの医療に参画します。
- ②災害に即応できる体制、能力を構築します。
- ③救急救命士の実習を受け入れ、育成に努めます。
- ④学生教育を受け入れ、学生に救急医学に関心を持ってもらいます。
- ⑤認定看護師・看護師の能力を活かした健康教育を行います。
- ⑥論文、学会発表を通し、academic emergency physician, academic acute care surgeon, academic ER nurse としての地位を確立します。
- ⑦医療系学生もしくは中高生へ向けた「救命救急センター」紹介・体験企画を行い、興味・関心を持ってもらいます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
救急WSでの出動	医師・看護師	救急WS出動件数	150件	150件	B	157件	社会貢献活動の実施数
災害訓練への参加	医師・看護師・薬剤師・技師	訓練参加数	10件	10件	B	7件	社会貢献活動の実施数
救急救命士の病院実習を受け入れる	医師・事務	受け入れ救急救命士数	55人	84人	S	57人	社会貢献活動の実施数
医学部学生の臨床実習を受け入れる	医師	受け入れ学生数	1人	1人	B	1人(慶應地域基盤型)	学生実習受入人数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師	論文数	1(共著者含む)	14編(共著者含む)	S	3編(共著者含む)	学会及び論文研究発表件数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師・看護師	学会研究発表数	8(共同演者含む)	50回(共同演者含む)	S	42回(共同演者含む)	学会及び論文研究発表件数
認定看護師・看護師による健康講座の開催	看護師	講演数	1回	4回	S	3回	講座及び講演数
医療系学生(中高生)向け見学企画『ひらつかER 救命救急センター 24時』の開催	医師・看護師・事務	開催数	1回	0回	D	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	手術室	副責任者	医師	唐木田 曜

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数の増加	医師	手術件数	20%増加	3,048件	C	2,707件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに分かりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
市民・Ptサービス向上のため、市民向け講座の開催	医師	市民向け院内講座の開催回数	1回	0回	D	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員給与費対医業収益比率の改善に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年比5%減	47.50時間	D	23.46時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	手術室	副責任者	医師	唐木田 曜

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会、院外研修会への参加	医師	参加回数	1人当たり年3回	7回	S	1人当たり年2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、発表などの学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会研究発表	医師	発表数	年3回	0回	D	年2回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成30年度】

室名	保健指導室	総括責任者	室長	厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長	野口 麻美子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で効率的な健診、予防接種体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断時及び予防接種時の手順の遵守	医師、看護師、事務職	インシデントの発生件数	0件	なし	B	0件	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

健康診断及び予防接種受診者が快適な環境で安心して受診できる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断及び予防接種時に丁寧な説明をする。	医師、看護師	苦情件数	0件	なし	B	0件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コスト管理を徹底し、経費削減に努めます。
- ②職員の健康管理を徹底し、心身が良好な状態での業務への従事と人材の有効活用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
薬品等の適切な管理(予防接種)	医師、看護師、	薬品等の節約	破棄薬剤0%	インフルエンザのバイアル4本分	D	0%	医業収支比率
病院職員の定期健康診断の際により細かなアドバイスを行う。	医師、看護師、	病気による新規退職者数	前年度未満	6人	C	6人	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成30年度】

室名	保健指導室	総括責任者	室長	厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長	野口 麻美子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研修等に積極的に参加し、医療者のレベルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他施設の学会・研修への参加	医師、看護師	参加回数	学会2回 研修会5回	学会1回 研修会2回	D	学会2回 研修会5回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域活動を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
健康診断あるいは予防接種についての院内セミナー等の開催	医師	開催回数	年1回	0回	D	1回	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—	—	副責任者	副看護部長 副看護部長	成田 小百合 稲村 ほづみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 高度医療に対応できる質の高い看護の提供に努めます。
2. 他職種連携・協働によるチーム医療を実践します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手順・基準を遵守し、患者に不利益を及ぼさない安全な看護	全看護職員・医師・薬剤師・医療安全担当・臨床工学技士	インシデントレベル3報告	前年比50%以下	48件	D	31件	(なし)
部門間の相互連携によるカンファレンスの実施	師長・看護師・看護補助員・医師・コメディカル	カンファレンス実績	各部署1回/1か月以上	全部署2回/月以上	S	各部署1回/2ヶ月	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 患者に選ばれる病院づくりに努めます。
2. 患者に快適な療養環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
”全員コンシェルジュ”専門職として品格ある接遇	全看護職員	アンケート結果	80%以上の肯定的評価	入院88% 外来75%	B	<看護師の言葉遣いや態度>入院88%外来72%	(なし)
”ぬくもり空間”を踏まえた患者の療養環境の充実	全看護職員	アンケート結果	80%以上の肯定的評価	入院67.5% 外来60%	D	—	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—	—	副責任者	副看護部長 副看護部長	成田 小百合 稲村 ほづみ

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- 人材確保に努めます。
- 看護職員の経営参画を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
人材確保・定着	看護部長・副看護部長・看護師長・事務職(病院総務課)	常勤看護師確保数	60人以上/年	47人	C	62人	看護師数
効率的な病床管理	看護部長・副看護部長・看護師長・医師・事務職(医事課・経営企画課)	4A病棟・4B病棟のオープン	4A・4B各43床	4A 43床 4B 45床	B	4AB 60床	病床利用率
重症度、医療・看護必要度の適切な評価と基準維持	全看護師・医師	一般病棟における基準クリア率	新基準30%以上 (旧基準27%)	一般病棟 33.6%	B	28.8%	(なし)
”コストの見える化”促進とコスト削減	全看護職員・病院総務課・経営企画課	物品(エアマット等)・衛生材料等の削減と時間外削減	前年度20%減	7.7%減	C	—	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い看護サービス提供のため、人材育成に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
看護管理者の育成	看護部長・副看護部長・師長	管理職学習会の実施	2回/月	2回/月	B	—	(なし)
ジェネラリスト育成	看護部長・副看護部長・教育担当師長	JNAクリニカルラーに基づく検討	自己評価・他者評価の実施と課題抽出	3病棟試行	B	—	(なし)

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—	—	副責任者	副看護部長 副看護部長	成田 小百合 稲村 ほづみ

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 地域の看護の質向上に努めます。
2. 地域住民の健康促進に向けた活動を行います。
3. 業務改善や研究活動等の成果を学会等で発表し、学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
地域の医療機関・学校・看護教育機関への協力	看護部長・副看護部長・師長・看護師	講師、アドバイザー派遣数	15件/年以上	21回	A	19回	講座及び講演数
地域住民に対する健康教育等の実施	看護部長・副看護部長・師長・看護師	講師、アドバイザー派遣数	7件/年以上	7回	B	6回	講座及び講演数
専門職としての研究・事例等発表	全看護職員	学会発表・投稿	5件/年以上	10件	S	4件	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	ICU・CCU	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	看護科長代理兼看護師長	面田 利文

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供する場としてICU・CCUを発展させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
各科が利用しやすい運用	医師、看護師	1日当たりの平均入院患者数	7.5人	7.1人	C	6.8人	(なし)
ICU・CCU管理が必要な症例(術後救急)が適時に利用できる運用	医師、看護師	応需率	98%	100%	B	98%	救急患者受入数
集中治療室委員会の開催	医師	開催回数	年1回	1回	B	年1回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①ICU・CCUとして信頼される急性期医療を提供します。
- ②ご家族が安心できる環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
患者の要望を十分に聴取する	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	B	0件	(なし)
面会時、ご家族と積極的に意思疎通する	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	B	0件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益増へ貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
病床利用率の向上による入院患者数の増	医師、看護師	1日当たり平均入院患者数	7.5人	7.1人	C	6.8人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【平成30年度】

科名	ICU・CCU	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	看護科長代理兼看護師長	面田 利文

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①スタッフのスキルアップを目指します。
- ②ICU入職者の育成チェックリストを作成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への積極的参加	看護師	参加数	1名当たり6回	1名当たり4.5回	C	7.8回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
各科勉強会への開催	看護師	勉強会開催数	年8回	8回	B	8回	(なし)
各科チェックリストの作成	看護師	チェックリスト数	4科	5科	A	2科	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①模範となるようなICU・CCUを目指します。
- ②周術期医療に関心のある学生の教育に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師、看護師	発表数	1回	1回	B	0回	学会及び論文研究発表件数
周術期医療に関心のある学生の受け入れ	看護師	受け入れ数	10名	22名	S	24名	学生実習受入人数